

花*花さんとのふれあいの会をしました

10月28日(金)に、両荘みらい学園の校歌を作詞作曲してくださる花*花さんをお招きして、子どもたちの今の校歌に対する思いや新しい校歌に入れたいフレーズについて思いを伝える『ふれあいの会』を行いました。

子どもたちは、花*花さんと会えるのをとても楽しみにしていました。

いよいよ花*花さんの入場です。子どもたちは、体育館の玄関の方を向いて、ワクワクしながら、大歓迎で花*花さんをお迎えしました。



《平荘小学校の校歌で、あなたの好きなところは？》

最初に、今子どもたちが歌っている平荘小学校の校歌について、自分の好きなところを花*花さんに伝えました。



「加古の流れの水澄て」の言葉が大好きです。

「もみち散りゆく」の言葉が大好きです。

「強き心」のところが大好きです。

「黄金波打つ」のところが大好きです。

平荘のいいところが歌詞に入っているから好きです。

こんな子に育ててほしいという願いが込められているところが好きです。

メロディが好きです。

「桜花さく」の言葉が好きです。

「学び舎」という言葉が喜欢です。

「都の手振り」の言葉がいいです。

「理想郷」という言葉が喜欢です。

春夏秋冬の平荘の季節が歌われているところが好きです。

《両荘みらい学園の校歌に、どんな言葉を入れてもらいたいですか？》



「元気」という言葉を入れてほしいです。

みらい学園の「みらい」という言葉を入れてほしいです。

身の回りに優しさがいっぱいあるから、「やさしさ」「思いやり」という言葉を入れてほしいです。

「人々がやさしい」という言葉を入れてほしいです。

「はばたく」を入れてほしいです。

両荘みらい学園なので、「みらい」を入れてほしいです。

「さくら」を入れてほしいです。さくらは、きれいだし、人の心をきれいにするからです。

「友だち」と「自然」を入れてほしいです。元気いっぱい、景色を楽しみたいからです。

「みらい」を入れてほしいです。そのわけは、自分のみらいが楽しみだからです。





「元気」という言葉を入れたいです。そのわけは、全校生が毎日元気に過ごせるようにという願いを込めたいです。

「みらい」という言葉を入れてほしいです。そのわけは、みらいに進むということからです。

「輝く」という言葉を入れてほしいです。そのわけは、一人一人が輝く学校にしたいからです。

「まだ知らないことが楽しい」という言葉を入れてほしいです。

《両荘みらい学園を、どんな学校にしていきたいですか》

元気いっぱいの学校にしたいです。

楽しい学校にしていきたいです。

みんなを思いやる学校にしたいです。



笑顔溢れて、キラキラの学園にしたいです。

みんなで守るやさしさのある学校にしたいです。

毎日思いっきり楽しんで、思い出に残る学園にしたいです。

《花*花さんより、平荘っ子にみなさんへ》



みんなからいいフレーズがいっぱいもらえました。そのフレーズを1こ1こ取りあげていくと（校歌が）100番ぐらいできます。みらいのみんなに必要な言葉をたくさん聞かせてもらいました。笑顔の時、しんどいことがあった時、さびしいことがあった時・・・等、そういう時にこそ思い出してくれる校歌をつくりたいです。そして、卒業してからも歌いたいと思ってもらえる校歌をつくりたいです。

今日は、みんなと出会えてよかったです。ここに来てよかったです。

令和6年度の両荘みらい学園の開校に向けて、現在、準備を進めているところです。長い歴史のある学校を閉じ、新たに『両荘みらい学園』としてスタートをするというなかなか経験することのないこの時期を、子どもたちが過ごしています。もちろん、地域や保護者の皆様、教職員も過ごしています。その中で、『両荘みらい学園』の校歌について、自分たちの思いを聴いていただく機会を設けていただいたことは、子どもたちの心の中にいつまでも残ることと思います。そして、『両荘みらい学園』の校歌により一層の親しみを感じ、（これから作られる校歌ですが）愛着を持って大切に歌い継いでいってくれることと思います。花*花さんとのふれあいの会が実施できて本当によかったです。関係者の皆様、お世話になりました。ありがとうございました。